

アスベスト大気濃度調査結果について（平成 19 年度）

環境省



環境省は、平成 17 年 12 月 27 付け『アスベスト問題に係わる総合対策』に基づき、平成 19 年度のアスベスト大気濃度調査結果を発表しました。この調査は、アスベストによる大気汚染の現状を把握し、今後の対策検討の基礎資料とすると共に、国民に対して情報提供していくことを目的としています。

平成 19 年度は、全国 51 地域 145 地点を対象に大気中のアスベスト濃度の測定を行った結果、1 地域を除いて高濃度のアスベストは検出されませんでした。また、高濃度の 1 地域のサンプルについて、分析走査電子顕微鏡法を用いて繊維の種類を確認したところ、アスベストではなく有機物繊維でした。

今回の調査のうち、29 地域 60 地点については、過去の調査と同一地域であり、過去の調査結果と比較すると、アスベスト濃度変化は 1 本/L 以内と、低いレベルで推移しています。

また、環境省はアスベストによる大気汚染の状況把握の為、平成 20 年度もモニタリングを続ける予定です。

当社では、日本作業環境測定協会からアスベスト分析に関して、埼玉県で唯一建材と空気両方で A ランクの評価を得ています。まずはお気軽にご相談ください。

資料 2008 年 5 月 27 日付 環境省 報道発表資料

無機分析箇所 櫻内大介